

令和3年度 多文化 Opinion Exchange 報告

1 日時 2022年1月14日(金) 9時30分～12時00分

2 場所 オンライン(Zoom Webinar)

3 テーマ 「コロナ禍の教訓を次に生かすために～ コロナ禍での『生活者としての外国人』の支援」

4 発表者・パネリスト

● **ダン チュン フン 氏**

(ベトナム出身、神戸市役所 市長室 国際部 国際課 多文化共生専門員)

● **ジャグモハン・スワミダス・チャンドラニ 氏**

(インド出身、ジャパンビジネスサービス有限会社 代表者・江戸川インド人会会長)

● **ブローハン 聡 氏**

(フィリピンとスペインと日本のハーフ (一社)コンパスナビに所属・児童養護施設者として YOUTUBE 番組 THREE FLAGS での情報発信、講演活動者)

● **マリア・レ・ティ・ラン 氏**

(ベトナム出身、カトリック川口教会のベトナム人シスター)

5 ファシリテーター 明治学院大学 教養教育センター 准教授 **長谷部 美佳 氏**

6 参加者 169名

7 その他 イベントの様子は以下の通り

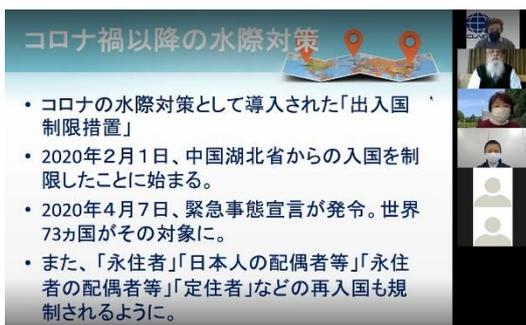
□ **09:30 開会**

■ **09:30～09:35 開会挨拶**

(一財)自治体国際化協会 理事 鳥田 浩平

■ **09:35～09:50 イントロダクション**

明治学院大学 教養教育センター准教授 長谷部 美佳



コロナ禍以降の水際対策

- コロナの水際対策として導入された「出入国制限措置」
- 2020年2月1日、中国湖北省からの入国を制限したことに始まる。
- 2020年4月7日、緊急事態宣言が発令。世界73カ国がその対象に。
- また、「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの再入国も規制されるように。

長谷部先生から、「コロナ禍の外国人市民への影響: 出入国の制限、失業、給付金」と題してご講演いただきました。2020年に新型コロナウイルスが拡大してからのできごとについて、日本在住の外国人への影響を中心に幅広い視点で振り返りをさせていただきました。出入国制限や失業による困難、給付金等の大切な情報を在住外国人へ届けるための課題等について貴重な話をいただきました。

■ 09:50～10:30 各パネリストの発表

各パネリストから、10分程度ずつ、それぞれの活動等についてのご紹介をいただきました。

・**ダン チュン フン氏** ベトナム出身で、現在神戸市役所の職員として勤めており、主な業務として市役所の情報をベトナム語で発信されています。普段から神戸市内在住のベトナム人から相談を受けていますが、特にコロナ禍において、ワクチン接種等についての質問が増え、情報の多言語化や情報発信に苦労されたことや、ベトナム語によるワクチン接種動画を配信したところ、多くの方に共有されたこと、ベトナムの方への発信は Facebook が有効なことなどについてお話しいただきました。

・**ジャグモハン・チャンドラニ氏** 輸出入等の会社の代表者として勤めるかわら、現在「江戸川区インド人会」の会長として活動されています。特に、東京の西葛西周辺のインド人コミュニティの支援についてお話をいただきました。区役所等からの情報を簡単にして共有する工夫や、国籍を問わずワクチン接種を受けられるための仕組み作りに関わった経験についてお話しいただきました。

・**ブローハン 聡氏** 日本人の父、フィリピン人の母のもと非嫡出子として生まれ、虐待を受けた生い立ち、児童養護施設での生活等の経験をもとに、当事者及び支援者として活動されています。現在、社会的養護出身の青少年が集う居場所(一般社団法人 [コンパスナビ](#))の運営に携わっていらっしゃる中で、コロナ禍において多く寄せられるようになった相談についてお話しいただきました。ご自身の活動に関する YouTube([THREE FLAGS](#))や著書等の紹介もありました。

・**シスター・マリア・ラン氏** ベトナム出身の修道女で、現在川口カトリック教会で、日本在住のベトナム人、特に技能実習生のための相談会等を開いています。コロナ禍においてアルバイトなどの収入源を失い、食事にも困っているような方に対してには食材を配布したことや、コロナウイルスやワクチン接種に関する正しい知識の共有のため、医師や弁護士等の専門家を招いて無料相談会等を開催した話等を伺いました。



■ 10:40～12:00 パネルディスカッション



最後に、長谷部先生のファシリテーションのもと、事前に参加者からいただいた質問にもお答えする形でパネルディスカッションを行いました。

パネリストの皆さんには、それぞれの職場やコミュニティで活動されてきた支援者としての観点から様々なご意見をいただきました。

コロナ禍で錯綜する多くの情報の中で、フェイクニュースに対応する難しさや、在住外国人へ効果的に情報を届けるための方法についてお話を伺いました。また、コロナ禍での経験を次に生かすために、コミュニティの代表や支援者として、今後望まれる自治体からの支援等についてもご意見を伺いました。

□ 12:00 閉会